

リーグ編成について（前後期編成と昇降格）

1 前期編成は、前年度の結果により以下の方法で編成を行う。

- ① 1部リーグは10チームとする。九州プリンスより降格してきたチームを1位枠に入れ（九州プリンスより3チーム降格の場合はプリンスの結果順に入れる）県1部リーグ残留チームは結果順に並ぶ。2部リーグより昇格したチームは2部リーグの順位戦の結果により上位枠に入れていく。
- ② 2部リーグはA・Bの2パートそれぞれ12チームとする。1部リーグより降格してきた上位チームから、Aの1位枠→Bの1位枠→Bの2位枠→Aの2位枠→・・・の順に入れていき、2部リーグ残留チームは順位戦の結果順に_____の順番通りに並ぶ。3部リーグより昇格してチームは、上位リーグの結果（勝ち点・得失点・総得点）により順位を決め（順位が決まらない場合は実行委員会にて抽選を行う）上位枠に入れていく。
- ③ 3部リーグはA～Jの10パートそれぞれ8～9チーム（参加チーム数により変動有り）とする。2部リーグより降格してきた上位チーム（順位戦の結果順）からAの1位枠→Bの1位枠→・・・Jの1位枠→Jの2位枠→Iの2位枠・・・の順に入れていき、3部リーグ残留チームはまず、上位リーグの結果（勝ち点・得失点・総得点）により順位を決め（チーム数が異なる場合は、最下位チームとの対戦結果を除く、また順位が決まらない場合は実行委員会にて抽選を行う）_____の順番通りに並ぶ。同じように下位リーグも並ぶ。ただし、同じチーム同士（そのチームの上位チームと下位チーム）が同パートに入った場合は、下位チーム側を下位順位側と入れ替える。新規参入チームは登録順に並ぶ。

2 後期3部リーグ編成は、前期リーグの結果により以下の方法で編成を行う。

- ① 上位リーグはA～Fの6パートそれぞれ6チームとする。前期リーグの3位までと、10パート各4位チームの勝ち点上位6チーム（勝ち点→得失点→総得点）が上位リーグとなる。まず、前期リーグの各パート1位だけの結果（勝ち点・得失点・総得点）により順位を決め（チーム数が異なる場合は、最下位チームとの対戦結果を除く、また順位が決まらない場合は実行委員会にて抽選を行う）Aの1位枠→Bの1位枠→・・・Fの1位枠→Fの2位枠→Eの2位枠・・・の順に入れていく。同じように各パート2位～4位と_____の順番通りに並ぶ。ただし、同じチーム同士（そのチームの上位チームと下位チーム）が同パートに入った場合は下位チーム側を下位順位側と入れ替えるが、それでもだめな場合は上位順位側と入れ替え、下位リーグとの入れ替えは行わない。

- ② 下位リーグはA～Fの7パートそれぞれ6～7チームとする。編成は2の①に準ずる。

3 降昇格は、プリンスリーグへの参入戦の結果により、県リーグへ3チーム増から1チーム減の場合が想定され、その増減によって昇降格が決定される。

- ① プリンスリーグからの降格チームと県リーグ1位の昇格、残留による増減について（別紙参照）

ア プリンスから3チーム降格、県リーグ1位も昇格できない場合。 ⇒ 県リーグ3チーム増

イ プリンスから2チーム降格、県リーグ1位も昇格できない場合。もしくは、プリンスから3チーム降格し、県リーグ1位が昇格した場合。 ⇒ 県リーグ2チーム増

ウ プリンスから1チーム降格、県リーグ1位も昇格できない場合。もしくは、プリンスから2チーム降格し、県リーグ1位が昇格した場合。 ⇒ 県リーグ1チーム増

エ プリンスから1チーム降格し、県リーグ1位が昇格した場合。もしくは、プリンスからの降格はなく、県リーグ1位が昇格できない場合。 ⇒ 県リーグの増減なし

オ プリンスからの降格はなく、県リーグ1位が昇格した場合。 ⇒ 県リーグから1チーム減

② 複数参加しているチームについて

ア 上位チームが降格した場合は、下位チームが昇格、残留圏内であっても降格となる。

イ 下位チームは上位チームの直下リーグまで昇格できる。

③ 2部リーグは、A・Bパートそれぞれの上位チームが昇格し、順位戦の結果は反映しない。

④ 昇格の優先順位について

ア 各リーグの上位チームの昇格ができない場合は、そのパートの次の上位チームが権利を得る。

イ 昇格の権利を得ることのできる条件

(ア) 1部リーグは降格チーム以外の上位チームより。

(イ) 2部リーグはA・Bパートそれぞれの上位4位まで。

(ウ) 3部リーグは後期上位リーグA～Fパートそれぞれの上位4位まで。

(エ) 2部・3部リーグ各パートで上位4位以内で昇格できるチームが無ければ、他のパートに昇格の権利が渡り、その上位チームより権利を得る。